

## 創薬提携

### ■ Twist社と創薬提携を締結

2023年8月、当社は米国Twist社と抗体医薬品の創製について提携する契約を結びました。Twist社は、革新的な構造を持った合成抗体のライブラリ(医薬品候補の集まり)を保有しています。当社は今後、選定した標的に対して、このライブラリから適した抗体を選び、それをもとに抗体医薬品づくりに挑みます。

### ■ Adimab社と創薬提携を締結

2023年9月、当社は米国Adimab社とがん領域での抗体医薬品の創製について提携する契約を結びました。

Adimab社は二重特異性抗体<sup>\*</sup>の作製技術で強みを持っており、独自のライブラリから、当社が指定する標的に対して抗体を探し出し、医薬品候補の創製に取り組みます。当社は本提携から創製される抗体医薬品候補を全世界で独占的に開発・製造・商業化する権利を獲得するオプション権を持ちます。

※二重特異性抗体:通常の抗体は、一つの抗原(抗体が結合する物質)に結合しますが、二重特異性抗体は一つの抗体が二つの抗原に結合するように改変した抗体で、通常の抗体よりも高い有効性を示す医薬品になることが期待されます。

## 企業

### ■ 当社グループで生成AIの利活用を開始

このほど、国内外のグループ会社を含む全社員を対象として、生成AI(人工知能)の利用を開始しました。高度な情報セキュリティを確保した対話型のAIで、資料の作成や要約、アイデアの壁打ち、問い合わせ対応など、さまざまな用途で広く活用しています。また、研究・開発・営業などにおいて、社内データや既存システムとの連携による、高度な活用の検討も進めています。

### ■ アストラゼネカ社との訴訟が全面的に和解

2023年7月、当社およびブリストル・マイヤーズ・スクイブ社が権利を有する抗PD-L1抗体/抗CTLA-4抗体関連特許に関するアストラゼネカ社およびその関連会社との特許訴訟等の紛争について、全世界で全面的に和解する契約を締結しました。

和解により、当社は総額約140百万米ドルを受け取ることになり、2024年3月期第2四半期に和解に伴う一時金収入として170億円を計上しました。

## サステナビリティ

### ■ ESG投資指数の構成銘柄に継続選定

GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が、ESG(Environment:環境、Social:社会、Governance:ガバナンス)投資に用いる五つの投資指数の構成銘柄に2023年度も継続選定されました。今年度からはGPIFが採用した「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt指数(GenDi J)」の構成銘柄にも選定されたことにより、当社はGPIFが採用する六つの国内インデックスすべてに選定されたことになります。

### 【当社が構成銘柄として選定されたESG投資指数】

6年連続	・FTSE Blossom Japan Index ・S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数	 FTSE Blossom Japan Index	 S&P/JPX カーボン エフィシエント 指数
5年連続	・MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数	2023 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数	
2年連続	・MSCI 日本株 女性活躍指数(WIN) ・FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	2023 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数(WIN)	 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
新規	・Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt指数(GenDi J)		

#### 免責事項:

小野薬品工業株式会社のMSCIインデックスへの組み入れや、本件お知らせにおける本投資法人によるMSCI社のロゴ・商標・サービスマーク並びにインデックス名の使用は、MSCI社及びその関係会社による小野薬品工業株式会社へのスポンサーシップ、宣伝、販売促進を企図するものではありません。MSCI指数はMSCI社に独占権があり、MSCI社及びMSCI指数及びそのロゴは、MSCI社及びその関連会社の商標・サービスマークです。